



平成 27 年 10 月 28 日

各 位

本社所在地 東京都中央区日本橋大伝馬町 7 番 3 号  
会社名 ヒューリック株式会社  
代表者 代表取締役社長 西浦 三郎  
(コード番号：3003)  
問合せ先 常務執行役員 広報・IR 部長 伊藤 伸  
電話番号 03-5623-8102

### 資本・業務提携および株式の取得（持分法適用関連会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 28 日開催の取締役会において、日本ビューホテル株式会社（東証 1 部、コード番号：6097、以下、「ビューホテル」といいます。）との間で資本・業務提携契約（以下、「本提携契約」といいます。）を締結し、同社の株式を取得することを決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 本提携について

##### (1) 本提携の理由

当社グループは、企業理念として、「私たちは、お客さまの社会活動の基盤となる商品・サービスを提供することにより、永く『安心と信頼に満ちた社会』の実現に貢献します。」を掲げ、不動産賃貸業を中心とした事業運営を行っております。

また、基本姿勢として「安定した企業基盤を活かしつつ、日々成長を遂げる企業を目指します。」を謳っており、この考えのもと、中期計画（2014 年～2016 年）では、賃貸中心のユニークなビジネスモデルを守りつつ、これに J-リートなどマネジメント事業や開発事業といった新しい事業領域を加え、高い成長の持続を目指すことを基本方針としてまいりました。特に、新規事業領域の開拓では「高齢化」・「観光」・「環境」といった社会的ニーズの高い分野に着目し、頭文字をとった 3K 事業として積極的な取り組みを行っております。

ビューホテルは、ホテル事業、施設運営事業及び遊園地事業を主要な事業としております。ビューホテルは、2015 年 3 月 10 日付の中期経営計画「VIEW HOTELS V-STAGE 280」において、独自のコンセプト（強み）と経営ビジョンに基づき、2020 年度までに連結売上高 280 億円を達成するために、これからの 3 ヶ年を新たな成長ステージと位置付けております。そのために取り組むべき課題として、2020 年度に向けて更に厳しくなる首都圏における競争環境への対応、アジアからの観光客を中心とする訪日外国人増加への対応、高齢化の進展や社会構造の変化による消費行動の変化・多様化への対応を挙げております。

ホテル業界におきましては、政府の積極的な施策を背景としたインバウンド観光客の増加、団塊の世代の退職による旅行ニーズの高まりなど、観光事業をめぐる環境は大きく変貌しつつあり、国際的にみても我が国の

観光産業は潜在的成長力を秘めていると考えられます。

当社及びビューホテルは、このような環境下、両社が共通して取り組むべき課題につきまして協働して対応することにより、それぞれが有する特性と強みを最大限に発揮し高い付加価値と競争力を創造することができるとの結論に至りました。また、当社は雷門ゲートホテルを運営しておりますが、ビューホテルとはターゲットとする顧客層が異なり、相互補完的な関係にあることも、本提携に至った理由の一つです。

具体的には、ビューホテルのホテル運営・施設運営・遊園地事業運営業者としてのノウハウ及びブランド力を活かして、当社の総合不動産としての開発力等を活かした首都圏を中心とした新規開発物件での協働を展開することで、新たな顧客層を取り込むなど、ホテル事業分野のサービスラインアップの充実が図れるほか、ビューホテルの既存物件についても、当社のノウハウを活用した環境に配慮した快適な建物へのリニューアルなど、顧客サービスの向上が期待できるものと考えております。

本提携に基づき、強固な資本関係の構築と両社の協働により、ビューホテルの更なる収益の積み上げが実現されれば、当社にも安定した収益が還元されることになり、両社の企業価値向上が着実に図られるものと考えております。

両社は、本提携契約の締結後、本提携に関するプロジェクトチームを速やかに組成し、具体的なシナジーの実現に向け取り組んでまいります。

## (2) 本提携の内容

当社とビューホテルは、本提携契約において、以下の項目を含め、業務提携を推進することを合意しております。なお、本提携の具体的な方針及び内容等につきましては、今後、両社が協議して決定いたします。

- ①両社の取引先、関係先のネットワークの活用及びホテル、旅館等の宿泊施設の運営に関する知識・経験を通じた、浅草エリア等における営業協力
- ②国内外の新規開発プロジェクトに関する情報共有
- ③当該情報に基づく新規開発プロジェクトへの参画
- ④当社からビューホテルに対する施設の建替、改修工事等に関するアドバイス
- ⑤ビューホテルが保有する遊休不動産の有効活用のための協働した開発事業
- ⑥人材交流

また、当社はビューホテルに社外取締役 1 名を派遣する予定であり、その選任議案につきましては、平成 28 年 7 月開催予定のビューホテル第 68 回定時株主総会に上程される予定です。

## (3) 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

当社は、本日付で、エムシーピースリー投資事業有限責任組合との間で、平成 27 年 11 月 2 日付でビューホテルの発行済株式総数の 25.00%に相当する株式 (2,416,856 株) を新たに同組合から取得する旨の株式譲渡契約を締結しております。

これにより、当社はビューホテルの発行済株式総数の 26.16%に相当する株式 (2,528,856 株) を保有することになり、ビューホテルは当社の持分法適用関連会社となる予定です。

① 異動前の所有株式数	112,000 株（発行済株式総数割合：1.16%）
② 取得株式数	2,416,856 株（発行済株式総数割合：25.00%）
③ 取得価額	5,559 百万円（1 株当たり 2,300 円）（注）
④ 異動後の所有株式数	2,528,856 株（発行済株式総数割合：26.16%）

（注）取得価額につきましては、市場株価平均法を用いて算出した株式価値を参考に、エムシーピースリー投資事業有限責任組合と協議・交渉の上、決定しております。

## 2. 日程

取締役会決議日	平成 27 年 10 月 28 日
資本・業務提携契約締結日	平成 27 年 10 月 28 日
株式譲渡契約締結日	平成 27 年 10 月 28 日
株式受渡日	平成 27 年 11 月 2 日

## 3. 今後の見通し

本提携による当社の今期業績に与える影響は軽微であります。

### 【ビューホテルの概要】

（平成 27 年 4 月末現在）

(1) 名称	日本ビューホテル株式会社	
(2) 所在地	東京都台東区西浅草三丁目 17 番 1 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 石井一男	
(4) 事業内容	ホテル事業、施設運営事業及び遊園地事業	
(5) 資本金の額	2,751 百万円	
(6) 設立年月日	昭和 28 年 5 月 4 日	
(7) 大株主及び持株比率	エムピーシーピースリー投資事業有限責任組合	52.14%
	株式会社立飛ホールディングス	5.81%
	名古屋鉄道株式会社	4.98%
	日本ビューホテルグループ社員持株会	3.02%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	1.93%
	CDIB & Partners Investment Holding Pte.Ltd	1.79%
	サントリー酒類株式会社	1.24%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口 4）	1.24%

	株式会社りそな銀行	1.24%	
	ヒューリック株式会社	1.16%	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	当社は当該会社の株式 112,000 株を保有しております。	
	取引関係	当社 100%子会社のヒューリック保険サービス(株)が当該会社から損害保険の代理業務を受託しております。 その他に特筆すべき取引関係はありません。	
	人的関係	特にありません。	
	関連当事者への該当状況	該当いたしません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結財政状態及び連結経営成績			
	平成 25 年 4 月期	平成 26 年 4 月期	平成 27 年 4 月期
連結純資産	12,645 百万円	13,148 百万円	14,118 百万円
連結総資産	22,268 百万円	21,953 百万円	22,866 百万円
1 株当たり連結純資産	1,340.84 円	1,394.17 円	1,463.95 円
連結売上高	16,820 百万円	17,645 百万円	18,188 百万円
連結営業利益	348 百万円	593 百万円	869 百万円
連結経常利益	851 百万円	774 百万円	1,058 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	404 百万円	418 百万円	587 百万円
1 株当たり連結当期純利益	42.90 円	44.41 円	61.32 円
1 株当たり配当金	- 円	- 円	20.00 円

(注1) 持株比率は発行済株式総数に対する比率を記載しております。

以 上